



Profile

津乃峰酒造株式会社

青い空と阿波の松島と言われる美しい橘湾を眼下に見下ろし、日には、遠く和歌山まで見渡せるといふ津乃峰山。山頂に鎮座する『津峯神社』は、創建神亀元年(724)に設立された歴史ある神社。創業時の昭和28年から津乃峰酒造は、この津峯神社の御神酒として、「清酒津乃峰」を醸造してきた地元と深い関わりを持つ酒造会社である。



山は津峯、酒は津乃峰 多くの人が飲みやすい酒を醸す

会社入口には、あたたかな手書き文字の看板。販売中のお酒の銘柄や値段が書かれていて、購入する人には、とても分かりやすい。社長の赤塔逸民(あかとういつひと)さんも訪れるお客さんと言葉を交わすのが楽しみだという。

銘柄は、クセがなく、飲みやすい純米酒『阿波美人』をはじめ、フレッシュで爽快な呑み口のしぼりたて生原酒や、大吟醸、吟醸酒など10銘柄以上を醸造している。2022年から展開しているのが、辛口ですっきりとした飲み口の純米吟醸『竹国』(ちっこく)。美しいブルーのボトルとラベルは、阿南の海を思わせる。竹の里阿南の地で、空に向かって成長していく竹の名前がついたこの酒は、祝いの席にもおすすめだ。

赤塔社長は、この道50年以上の大ベテランだが、自分の酒への思いを人に押し付けることはない。「酒の味は、飲んだ人が決めるもの。多くの人が飲みやすいお酒を作っています」と微笑む。酒づくりは難しくあり、楽しいものだという赤塔社長。「とにかく気軽に楽しく飲んでくれたらうれしいです」と言いながら、配達へと出かけていった。